

加藤商事株式会社

CSR

Report 2014



未来の地球に
持続可能な
環境を創る企業

KATO



未来の地球に 持続可能な 環境を創る企業

加藤商事は「次世代に生活する快適さと持続性の調和した環境を残すことが、
今存在する当社の責務である」と考え、経営理念を
『未来の地球に持続可能な環境を創る企業』とし、
社員の思いを集結し全力で事業に取り組んでまいります。

目次

■ 目次・編集方針	2
■ 会社概要	3
■ トップメッセージ	4
■ 特集:地域を守る存在であるために	6
■ 加藤商事のCSR経営	8
▶ CSRの重点課題	
▶ 人財	
▶ 安全衛生	
▶ CS(顧客満足)	
▶ 環境	
▶ 地域貢献	
■ CSR調達方針	22
■ 第三者意見	23

編集方針

本報告書は、加藤商事におけるCSR(企業の社会的責任)の基本的な考え方と取組・実績についてその情報を開示し、ステークホルダーとの関係を大切にしながら、経営の改善・向上を目的とするものです。重点取組を「人財」「安全衛生」「CS(顧客満足)」「環境」「地域貢献」の5つとし、それぞれの活動を紹介しています。情報の信頼性を確保するため、第三者意見書を添付しています。

《対象期間》 2013年度(2013年4月～2014年3月)

《対象範囲》 加藤商事株式会社 本社・営業所全体

《参考としたガイドラインなど》

・GRI【サステナビリティレポートガイドライン】第3版

・環境省「環境報告ガイドライン」(2012年版)

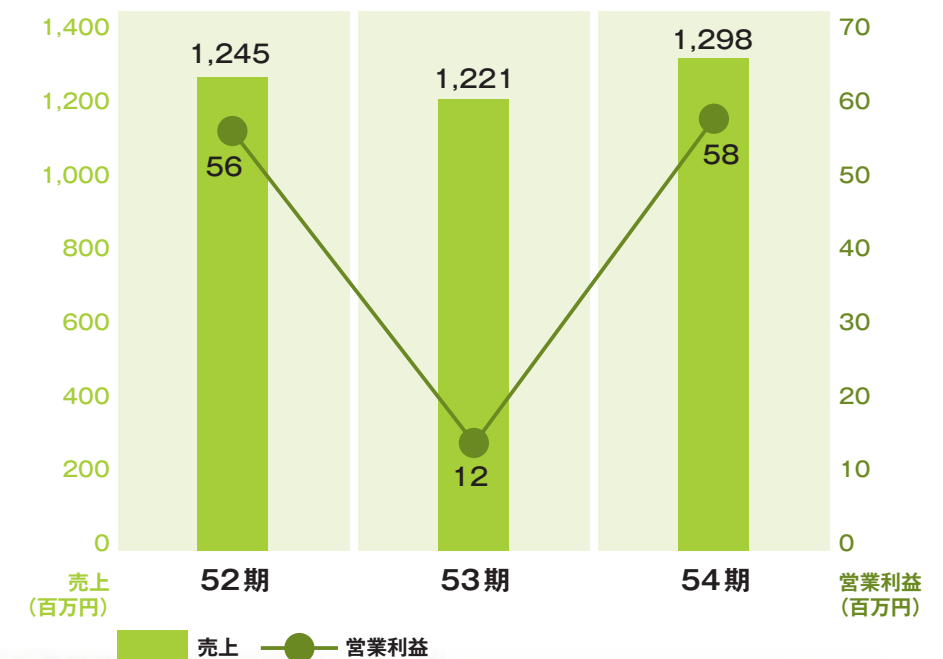
・ISO26000「社会的責任に関する手引き」

《発行日》 2014年8月

会社概要

■ 会社名	加藤商事株式会社
■ 代表者	代表取締役 加藤 宣行
■ 所在地	東京都東村山市恩多町1-12-3
■ 事業所・営業所	赤坂営業所:東京都港区赤坂4-4-14未来環境創造ビル1F 東大和営業所:東京都東大和市奈良橋4-644-3 町田営業所:東京都町田市鶴間519-11
■ 設立	1960年4月(昭和35年)
■ 資本金	4,050万円
■ 売上高	12億9,800万円(2013年9月決算期)
■ 従業員	119名(2014年4月現在)
■ 事業内容	一般廃棄物収集運搬/産業廃棄物収集運搬/容器包装プラスチック中間処理/ビルメンテナンス業/廃棄物・3Rコンサルティング/省エネ商材販売/省エネコンサルティング/各種省エネ関連報告書作成支援

財務情報





トップメッセージ

10年後、20年後のあたり前を創る、
そんな企業へ成長したい。

加藤商事株式会社
代表取締役 加藤 宣行

CSR Report 2014 発行を迎えて

当社は「^{あす}未来の地球に持続可能な環境を創る企業」という経営理念を掲げ、限りある資源を大切に使い、適切に処理するサービスを通し、次の世代が快適な生活を送り続けられるような『環境創り』に貢献できる企業を目指しています。

近年は、従来の一般廃棄物の収集・運搬や容器包装プラスチックの中間処理業務に加え、民間企業が事業活動に伴い使用するエネルギーの削減にも取組んで参りました。節電意識の高まりを受け、着実に実績を重ね、少しずつではありますが省エネルギー関連事業の幅も広がってきております。

また、ご導入いただいた方々より、お客様をご紹介いただく機会も格段に増えてまいりました。これは、「最高のサービスを提供し続ける」と掲げたC S R経営理念のもと、社員一人一人が「最高のサービスとは何か」を常に考え行動した結果を評価いただいたことだと思えます。

今後は、単に商材やサービスをご提案するだけでなく、どうしたらお客様が取引先の方々から評価を得ることができるのかを考え、『環境』という側面から全力でサポートできる体制を目指していきたいと考えております。このような取組みを通じて、当社の考えに賛同していただけるお客様とともに、「持続可能な環境を創造」していききたいと思います。

また、従来のC S R(企業の社会的責任)に加え、公

共性の強い事業を行っている当社の強みを生かした社会貢献としてC S V(共通価値の創造)を積極的に取り入れていきたいと考えています。このような活動を積極的に行うことで、地域からより多くの信頼を得ることができるよう、邁進してまいります。

廃棄物の新たな可能性を見出す

リサイクルという言葉の定着や技術の進歩により、多くの廃棄物がリサイクルされるようになりました。しかし、リサイクルによって再び「製品」として生まれ変わるものは多くありません。そんな中“waste to energy(廃棄物のエネルギー化)”が現在注目されています。廃棄物からエネルギーを生み出し、エネルギーの使い方まで工夫する・・・そういったことが当たり前となる未来がすぐそこまで来ています。当社も廃棄物やエネルギーを生業としている企業である以上、単なる中間処理だけでなく、廃棄物のエネルギー化事業にも取組んでいきたいと考えています。日本国内で実績を積んだ後、その知識や技術を積極的に海外へ展開することを計画しています。海外展開を行うことで、当社の考え・取組みをより広げることができると思っています。

仕事と生活の調和 ワークライフバランスを目指して

当社には、企業理念に共感した社員が集まっています。だからこそ、社員一人一人が自らの考えによって行動した結果が自ずと企業理念に則したものとなっています。このような行動の積み重ねが、市民の方々やお客様からの高い評価につながっていると感じております。社員には、自分たちの仕事に誇りを持ち、従来の枠にとらわれずにやりがい求めて積極的に行動し続けてくれることを期待しています。

そのために、仕事はもちろん、社員の「人生」そのものが充実できるよう、会社として働きやすい環境を提供していきたいと考えています。それは、仕事は順調でもプライベートが充実していなければ、良い仕事はできないと私自身が思っているからです。

当社も新卒採用を始め5年が経ちました。結婚、出産などライフステージの変わり目を迎える社員も増えてきています。そういった社員たちが不安なく、安心して働き続けられるようにルールを整備する必要があります。例えば、できる仕事の範囲を本人と相談し時短勤務などの「働き方の多様性」を考えていかなければならない時期にきていると感じています。すぐに直面する課題として、早急に対応策を講じていきたいと考えています。

市民の皆さまの生活を 守り続ける存在であるために

私たちの仕事は、人の生命に直結する仕事です。例えば、家庭から出るごみの収集を行うことができなくなったら、エコ工場での受け入れを止めてしまったら・・・、多くの方の生活に影響を及ぼしてしまいます。私たちはその責任の重さを日頃から十分に理解し、どんな状況でも「止めない」ための対策を講じる必要があると強く感じています。

そのため、現在B C P(事業継続計画)について勉強しています。どういった被害が想定されるのか、被害に対しどのような対応をとるのか、事前に防げることはあるのかなど、緊急事態に備えた対応計画を早期に私自身がとりまとめる予定です。実効性を伴ったものとするため、定期的な社員への教育・訓練や計画の見直しを行い、市民の皆さまの安心安全な生活を守り続けていきたいと考えています。

当社は昨年10月に55期目を迎えました。ここまでやってこられたのは、55年という長きにわたりお客様から評価をいただき続けたからだと思っております。

これからも多くの方々から必要とされ、信頼される会社であり続けるべく、日々精進してまいる所存です。

今後もより一層のご支援、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

特集 地域を守る存在であるために

私たちにできることを一歩ずつ ～「ふれあい回収」の実施～

家庭から出るごみや資源物の収集運搬業務を通じて、何か地域の方々のお役に立てる取組みはないだろうか、そのような思いから当社では「ふれあい回収」に取組んでいます。

ふれあい回収とは、ごみや資源物を集積所等まで持ち出すことが困難で、かつ隣人の方の協力が得られない世帯に対し、希望者を対象にごみ収集と併せて、インターホンなどによる「声かけ」を行い、安否の確認を実施する取組みです。

この取組みは公益社団法人全国産業廃棄物連合会主催のCSR2プロジェクトにおいて「ステークホルダーとの共同実施部門」で入賞致しました。

収集運搬業務では、住宅街など市民の皆さまの近くで仕事をさせていただいています。何か困ったことがあったらまず声をかけていただける「頼れる存在」となるため、ふれあい回収に続く、新たなチャレンジに取組んでまいります。

万が一の時のための備えを ～普通救命講習会への参加を奨励～

当社では東大和市清掃事業協同組合の取組みとして、東大和営業所の全従業員が、東京消防庁が実施している「普通救命講習」を受講し「救命技能認定書」の交付を受けております。

講習会では、心肺蘇生やAED（自動体外式除細動器）の使用方法、異物除去、止血法などを学びます。



また、東大和営業所の車両には、ドライバーが普通救命講習を受けたことがわかるように、車体にステッカーを貼っています。現在は東大和市内での取組みですが、将来的には他の営業所にも活動を展開する予定です。



慌てず、冷静な行動のために ～AEDマッププロジェクト～

心臓が止まってから10分間で応急手当ができるかどうかで生存の可能性が大きく変わります。もし実際にAEDを使う場面になったら、講習会で学んだことを冷静に行えるか不安だという社員からの声をもとに「AEDマッププロジェクト」を行うことになりました。

これは、AEDの場所が記された地図を携帯し、近くにあるAEDを常に意識しておこうという取組みです。日頃から「もし」を想定することで、いざという時に慌てず冷静な対応が可能となります。

今後も「学ぶ」から「行動」へつなげられる取組みの実施を予定しています。これらの活動を通じて、地域の安心・安全に一層貢献してまいります。



受講者の声 収集運搬課 大浜

ごみの収集を行っている時、事故や病気によって倒れている方に遭遇する機会がゼロではないと考えています。もし、そういった場面に遭遇した時に、何かできることはないかと考え、普通救命講習会に参加しました。

実際に講習会で得た知識が生きた経験はまだありません。このままそのような機会がないことを願いながら、「もし遭遇したら・・・」と日頃から意識だけはするようにしています。仕事だけでなく、身近な人が倒れた際にも役立つことだと感じています。

今は東大和だけの取組みですが、今後は他の営業所にも広げ、当社社員全員が受講できるように働きかけていきたいです。これからも、「地域に根差した活動」を行いたいと思っています。

収集現場でのAEDへの取組み

応急手当の必要性について

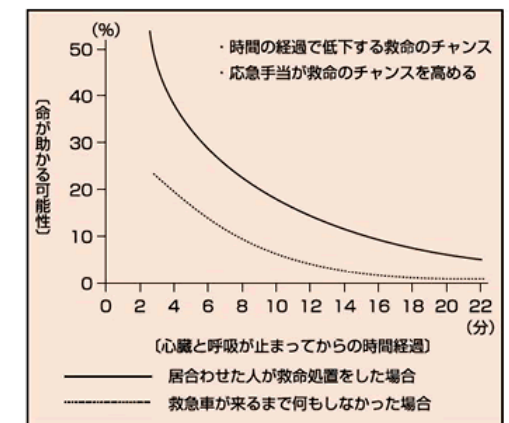
【救急車到着までの救命処置の必要性】

救急車が要請を受けてから現場に到着するまでの平均時間は、東京都内で6～7分です。この救急車到着までの空白の6～7分間が傷病者の生命を大きく左右することとなります。救命曲線(右図)によると、心臓や呼吸が止まった人の命が助かる可能性は、その後の約10分間に急激に少なくなっていくます。そのことから、傷病者を救命するためには、バイスタンダーによる応急手当が不可欠といえます。

【自主救護の必要性】

震災や風水害等で、同時に多数の傷病者が発生したときは、平常時のように救急車を期待することは困難です。このようなときは、自主救護が必要となります。

救命曲線



Holmberg M et al. Effect of bystander cardiopulmonary resuscitation in out-of-hospital cardiac arrest patients in Sweden. Resuscitation 47:59-70, 2000. より、一部改変して引用

【応急手当講習テキスト】改訂3版から引用

東京法令出版株式会社
「身につけよう応急手当 普通救命再講習テキスト」より

AED(自動体外式除細動器)とは?



AED

AEDは、Automated External Defibrillatorの頭文字をとったもので、日本語訳は自動体外式除細動器といえます。小型の器械で、体外(裸の胸の上)に貼った電極のついたパッドから自動的に心臓の状態を判断します。もし心室細動という不整脈(心臓が細かくブルブルふるえていて、血液を全身に送ることができない状態)を起こしていれば、強い電流を一瞬流して心臓にショックを与えること(電気ショック)で、心臓の状態を正常に戻す機能を持っています。器械の電源を入れれば音声がい方を順に指示してくれるので、誰でもこの器械を使って救命することができます。

公益社団法人 日本心臓財団 ホームページより

加藤商事のCSR経営

当社にしかできないサービスを提供し、
ステークホルダーとともに最高の環境を実現する

加藤商事では、未来の地球に持続可能な環境を創る企業という企業理念のもと、
地域の方々の”環境”に貢献する事業を展開しています。
「当社にしかできない質の高いサービスを提供し続けること」が、
私たちのC S R (企業の社会的責任)の基礎であると考えています。
さまざまなステークホルダーの方々と双方向でコミュニケーションを行い、
最高の”環境”を提供できるようコンプライアンスを遵守したC S R活動を行ってまいります。

CSR基本方針

ステークホルダーごとに以下の方針を設け、社会的責任を果たしていきます。

お客様／取引先

お客様の信頼につながる質の高い
商品・サービスを、常に提供する。
共にコンプライアンスを順守し、
質の高い商品・サービスを提供す
ることのできるパートナーと関係
を築く。

地域

市民の皆様が安心・安全に生活で
きる最善のサービスを提供する。
積極的に地域社会とコミュニケー
ションを図り、また地球環境に対
し先進的に取り組む。

社員

お客様へ最高のサービスを提供
できる人財を育成し、活気ある職
場づくりを行うことで最大限の
成果を出し続ける組織を目指す。

加藤商事の約束(CSR行動憲章)

グローバルコンパクトの10原則を踏まえ、以下の行動を遵守することを約束します。

●コンプライアンスの推進

●お客様への最善なサービスの提供

●人財の最大限の活用

●人権の尊重

●環境問題への積極的な取り組み

●コミュニケーションの充実

●安全の確保

●地域社会への積極的な貢献

●情報管理の徹底

▶ 加藤商事の約束(CSR行動憲章)の詳細は弊社ホームページにて公開しております。
http://katosyoji.net/csr_torikumi/4778/

グローバルコンパクトの10原則への参画

加藤商事は「グローバルコンパクトの10原則」を支持、全社を挙げて実践に努め、社員への浸透を図ってま
いります。

人権

原則 1. 企業はその影響の及ぶ範囲内で国際的に宣言
されている人権の擁護を支持し、尊重する。
原則 2. 人権侵害に加担しない。

労働

原則 3. 組合結成の自由と団体交渉の権利を実効あ
るものにする。
原則 4. あらゆる形態の強制労働を排除する。
原則 5. 児童労働を実効的に廃止する。
原則 6. 雇用と職業に関する差別を撤廃する。

環境

原則 7. 環境問題の予防的なアプローチを支持する。
原則 8. 環境に関して一層の責任を担うためのイニ
シアチブをとる。
原則 9. 環境にやさしい技術の開発と普及を促進する。

腐敗防止

原則 10. 強要と賄賂を含むあらゆる形態の腐敗を防
止するために取り組む。

ISO26000の活用

加藤商事では、ISO26000の当社における取組みについて積極的に取組んでまいります。

中核主題	課 題	当社の主な取組み
組織統治	組織統治	●コーポレート・ガバナンス ●内部統制 ●リスク管理 ●ステークホルダーに対する情報開示
人権	デューデリジェンス／人権に関する危機的状 況／加担の回避／苦情解決／差別および社会 的弱者／市民のおよび政治的権利／経済的、社 会的および文化的権利／労働における基本的 原則および権利	●国連グローバル・コンパクトの支持 ●人権の尊重・差別の禁止
労働慣行	雇用および雇用関係／労働条件および社会的 保護／社会対話／労働における安全衛生／職 場における人材育成および訓練	●人材育成 ●ダイバーシティの推進 ●障がい者支援 ●ワークライフバランスへの取組み ●労働安全衛生の推進
環境	汚染の予防／持続可能な資源の利用／気候変 動の緩和および気候変動の適応／環境保護、生 物多様性、および自然生息地の回復	●環境マネジメントの推進 ●ISO14001 認証取得 ●環境目的・目標・指標の推進 ●環境ビジネスの拡大
公正な事業慣行	汚職防止／責任ある政治的関与／公正な競争 ／バリューチェーンにおける社会的責任の推 進／財産権の尊重	●コンプライアンスの推進 ●公正な取引の強化 ●情報セキュリティの強化
お客様への対応 (消費者課題)	公正なマーケティング、事実即した偏りのな い情報、および公正な契約慣行／消費者の安全 衛生の保護／持続可能な消費／消費者に対す るサービス、支援、ならびに苦情および紛争の 解決／消費者データ保護およびプライバシー ／必要不可欠なサービスへのアクセス／教育 および意識向上	●製品・サービスの品質管理および向上 ●お客様満足向上に向けた取組み ●個人情報保護の徹底
コミュニティへの 参画 およびコミュニティ の発展	コミュニティへの参画／教育および文化／雇 用創出および技能開発／技術の開発および技 術へのアクセス／富および所得の創出／健康 ／社会的投資	●社会貢献活動の推進 ●次世代人材の育成 ●地域社会・国際社会への協力

CSRの重点課題



加藤商事では、ステークホルダーの期待と関心や自社にとって重要度が高い“5つのテーマ”をCSR活動の軸として取り組んでおります。日々の事業活動を通じ、社会や環境にかかわる課題に真摯に向き合い、新しい社会価値の創造に取組み、すべてのステークホルダーの皆さまへの責任を果たしていきます。

CSR行動計画・目標と実績・自己評価

CSR活動を効果的に推進していくために、以下5つの重点テーマについて、取組み内容をより明確にし、PDCAを回しながら継続的に取組んでまいります。取組み結果を踏まえた上で、次年度の取組みを計画し、活動総括・主な実績の具体的な内容については、各テーマの掲載ページをご覧ください。

自己評価 ◎:達成 ○:おおむね達成 △:努力の余地あり

人財 環境問題に立ち向かう知識・技術を有する人財の育成	
2013年度計画	- 業務に役立つ国家資格の取得(会社が認定した資格) - 障がい者雇用 2名以上
活動総括・実績	障がい者雇用 2名以上
評価	△
2014年度計画	- 障がい者雇用維持 - 取得推進資格の見直し・拡充 - 推進資格取得者数の増加 - 社内研修会企画立案・実施

安全衛生 社員の安全意識向上による事故・災害の撲滅	
2013年度計画	- 死亡災害・労働災害を「ゼロ」にする。 - 交通事故(通勤災害を含む。)を「ゼロ」にする。 - 機械設備の更新(労災の予防) - 安全衛生巡視の強化
活動総括・実績	- 労働災害…2件 交通事故…0件 - 工場安全対策実施 - 安全衛生巡視実施
評価	△
2014年度計画	- 死亡災害・労働災害・交通事故を「ゼロ」にする。 - 安全教育の実施 - 安全衛生巡視の継続実施

CS (顧客満足) お客様視点に立った質の高いサービスの提供	
2013年度計画	- 法人向けの満足度向上企画 - 市民向けの満足度向上企画
活動総括・実績	- LED導入顧客に対するアンケート継続実施 - 商品ラインナップの増加 - クレーム防止対策実施 - みまもり・ふれあい回収継続
評価	◎
2014年度計画	- 法人向けの満足度向上企画 - 市民向けの満足度向上企画

環境 未来の地球に持続可能な環境を創る	
2013年度計画	- EMSによる継続的改善 - 新たな環境ビジネスの企画立案
活動総括・実績	- ISO140001継続 - 太陽光発電システム設置
評価	△
2014年度計画	- EMSによる継続的改善 - 新たな環境ビジネスの企画立案

地域貢献 地域に根差したCSR活動	
2013年度計画	- 環境教育の企画立案 - エコ工場フェニックス見学会
活動総括・実績	- 環境教育の企画立案、実施 - エコ工場フェニックス見学会開催 - 東大和ドライバー普通救命講習受講
評価	◎
2014年度計画	- 環境教育の企画立案 - エコ工場フェニックス見学会 - ドライバー普通救命講習受講 - BCP(事業継続計画)の作成

社員宿泊研修

11月16日(土)～17日(日)の2日間にわたって社員宿泊研修会を開催し、25名が参加しました。

1日目は鶴見製紙株式会社様の工場見学を行いました。その後、研修会場にて、奥村顧問による「安全と現場力」についてのグループワーク及び発表を行いました。

2日目は、環境関連知識についての社内アンケート結果をもとに、当社の事業展開を踏まえてこれからどのような環境知識が必要か、活発に意見交換が行われました。研修会の締めくくりには、元環境省事務次官の炭谷茂氏が副会長を務める、環境福祉学会のシンポジウムに出席しました。具体的な取組み事例をもとに、今後より一層重要となる環境と福祉とのつながりについて考えました。



参加者の声 総合建物管理課 荒井

今回の研修は内容が大変充実しており、学び得た事がたくさんありました。特に鶴見製紙様は、当社の機密書類を降ろす場所であり、最終工程まで見学させて頂けるという事で、とても楽しみにしておりました。実際に見学させていただくと、想像以上に工程量が多く、異物除去ひとつとっても工程を重ね、丁寧に除去されている事に驚かされました。この研修を通じ、パートナー企業として、お互いの信頼関係がさらに強くなったと感じております。



資格取得

各従業員の主体的なキャリア形成を支援するため、受験料や資格手当を会社が支給し、自己啓発・スキルアップを目的とした従業員の資格取得を支援しています(会社が認定した資格に限る)。

2013年度は、電気工事関連並びに環境コンサルティング業務に係る資格の取得が多くみられました。

会社が取得を推進する資格については、中長期的な当社の方向性と併せて、現在見直しを行っております。

2013 年度の 取得資格	浄化槽管理士	1名	高所作業車技能講習終了	1名	2級電気工事施工管理技術検定	1名
	照明コンサルタント	1名	技術士補(環境部門)	4名	第二種電気工事士	1名
	情報処理技術者	1名				

取得を推進している資格

取得難易度(高)		取得難易度(中)	
1	エネルギー管理士	1	1級土木施工管理士
2	焼却処理施設技術管理士	2	1級管工事施工管理技士
3	社会保険労務士	3	第1種衛生管理者
4	宅地建物取引主任者	4	1級ボイラー技士
5	マンション管理士	5	第1種電気工事士
6	行政書士	6	1級造園施工管理技士
7	破砕リサイクル施設技術管理士	7	2級土木施工管理技士

社員教育

当社では、環境問題に立ち向かう知識・技術を有する人財の育成を目指し、各部署で求められる知識・技術を習得するため社員教育を実施しています。社外の研修・講習会への参加や課内勉強会など、様々な内容の教育を実施しています。今後は教育内容を体系化し、一人ひとりのキャリア開発を支援していく予定です。

環境保全事業部 収集運搬課

収集運搬課では、使用する車両を常に良好な状態に保つことと、狭い生活道路を走行することが多いために、運転技術の向上に取組んでいます。

車両の点検整備については、車両故障による事故やけが、または業務への遅延などを未然に防止できるように定期的にメーカー担当者を招いて、当社整備管理者へ緊急事態に備える技術や情報、さらには整備をするうえでの注意点などを提供して頂いております。

運転技術の向上は、取集中の事故防止のために大変重要な課題であり全員参加で訓練を行っています。特に初任運転者に対しては、先輩ドライバーの添乗指導や場内での実技訓練を実施し、無事故を目指しております。



環境イノベーション事業部 総合建物管理課

総合建物管理課では、リスクアセスメントとヒューマンエラーの2点について教育を行っています。リスクアセスメントは、過去の関係会社等の事故事例から作業のリスクに対する認識をメンバー全体で共有するとともに、安全第一に合理的な方法で優先順位を決め「守るべき決め事」を明確にし、労働災害防止に役立てようと考えます。

ヒューマンエラーは、特にスキル不足からくるエラー、スリップ行動、近道行動についてメンバーと共有し、人的ミスの撲滅を目指しています。



環境イノベーション事業部 コンサルティング課

コンサルティング課の省エネ照明チームでは、お客様に最適な提案ができるよう定期的に勉強会を行っています。

各メーカーをお呼びして最新照明の説明や市場の状況などについて学び、常に最新情報を仕入れ、更にはお客様の導入事例や喜びの声なども共有して営業に役立てています。



環境保全事業部 資源再生課

安全意識および運転技術向上の取組みとして、ニチユンHIフォークリフト株式会社を講師として招き「フォークリフト運転業務従事者安全教育」を受講しています。

運転をする者にとっては初心にかえり集中力と注意力を磨きなおす、よい機会となりました。



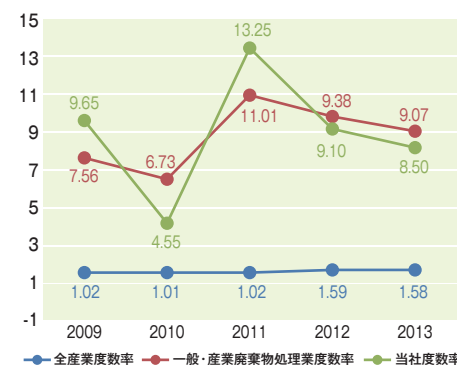
障がい者雇用

当社では、地元の障がい者を積極的に採用しております。これまで、事務職での採用実績はありましたが、今年からは工場ではじめての採用を行いました。事前に実習を行ったことや、時短勤務やサポート体制を整えたことで、大きな戸惑いもなく働いていただいています。

今後も一人ひとりがその能力を十分に発揮し、生き生きと働くことのできる職場環境作りに力を入れていきます。

安全成績

年度	1人当たり 年間労働時間 (時間)	平均 労働者数 (人)	総労働時間 (時間)	死傷 者数 (人)	型別死傷災害発生状況
2009	1,936	107	207,152	2	交通事故 1件、 動作の反動無理な動作 1件
2010	1,944	113	219,672	1	転倒 1件
2011	1,952	116	226,432	3	はさまれ巻き込まれ 2件、 墜落・転落 1件
2012	1,944	113	219,672	2	その他 2件
2013	1,944	121	235,224	2	はさまれ巻き込まれ 2件



【労働災害度数率】
(資料出所:労働災害動向調査)

2013年度の労働災害度数率(100万労働延べ時間当たりの死傷者数)は8.50と、一般・産業廃棄物の平均値を、やや下回りました。内訳としては、はさまれ巻き込まれが2件となっております。

過去5年間を振り返っても死傷者数が0件となった年は残念ながらありません。これからも安全第一に、事故の撲滅を目指してまいります。

無事故表彰

当社では1年間無事故(交通事故/車両故障/顧客トラブル/労働災害)を達成した収集運搬課社員に毎年表彰、5年間・10年間無事故を達成した収集運搬課社員には「特別優良運転者」として表彰と褒賞を行っています。2013年度は10年間無事故達成をした社員が4名おりました。

無事故表彰者数

年度	本社		秋津		東大和		町田		合計		
	該当者 (人)	総数 (人)	該当者 (人)	総数 (人)	該当者 (人)	総数 (人)	該当者 (人)	総数 (人)	該当者 (人)	総数 (人)	割合 (%)
2011	12	14	32	37	15	18	9	11	68	80	85%
2012	15	16	27	36	16	18	11	11	69	81	85%
2013	15	17	27	34	17	18	11	13	70	82	85%

10年間無事故達成 収集運搬課 高木

「基本動作の徹底」を常に意識してハンドルを握っています。運転免許証を持っていれば誰もが公道を走ることができます。しかし我々は運送を業としている「プロ」であり、交通事故は絶対に起こしてはなりません。小さなことでも徹底的に実施する意識を持ち、社会に対する責任を体現できるようこれからも業務にあたっていきます。

昨今は高齢ドライバーの増加やマナーの悪い自転車など道路を取り巻く問題が多くなりつつありますが、「かもしれない」運転で無事故継続を目指します。



安全衛生巡視

当社では不安全状態や不安全行動を発見し、是正・改善するために「安全衛生巡視」を実施しております。改善点が発見された際は、改善日を決め、再度点検を行います。

安全衛生巡視を行うことは、物理的な危険回避だけでなく、巡視をする側・現場側ともに改めて安全に対して認識する機会を得ることができます。今後も内側・外側の両面から安全な環境を確保してまいります。



エコ工場安全対策

メンテナンス時の圧縮減容機での巻き込み事故が発生しました。この事故を受けて、装置内を点検する時に開け閉めを行う安全カバーへのセンサー取り付け、およびメンテナンスマニュアルの改訂を実施しました。

このような事故が今後起こらぬよう、再発防止に努めてまいります。

事故を受けての対応策

■安全カバーへのセンサー取り付け

- (1)安全カバーが開いている状態では、減容機は動作しない。
- (2)動作中に安全カバーを取ってしまうと、非常停止と同様に、減容機が停止する。

■メンテナンスマニュアルの改訂

- (1)装置の清掃・メンテナンスを行う際は、制御盤ブレーカーをOFFにすること。
- (2)作業は、責任者立会いのもと行うこと。
- (2)装置を操作する際は、声掛け確認および声掛けに対する返答があるまでは、絶対に運転をしないこと。



ECOドライブの推進

当社では廃棄物の収集運搬を行っており、日頃から運転をする機会が多い社員のECOドライブ講習会への参加を推奨しています。

環境にやさしい運転の仕方を学ぶことで、日頃の自身の運転を振り返り、安全運転にもつながればと考えています。

今後も、環境配慮の意識を高め、地球温暖化防止に貢献していくという自覚を持ち、積極的に安全ECOドライブに取り組んでまいります。



(ECOドライブ修了証・受講証明書)

省エネ照明ラインナップの増加

当社が省エネ照明の取り扱いを始めてから4年目を迎えます。当初は直管型LEDのみのご提案でしたが、技術の進歩・お客様のご要望によりラインナップを増やして参りました。

「良い商品」を取り扱うことはもちろん、お客様にとって「最適な提案」ができるよう、日々追求してまいります。



お客様の声



元々のインバーター付照明から、さらに50%の省エネが実現し満足している。心配していた照度は落ちず、体感的にはむしろ明るくなった。蛍光管を交換する手間が省けることも魅力である。



LEDでは不安だった影や光の広がり問題なく、特に人が作業する手選別ラインが明るくなり、安心して作業ができるようになり、満足している。



LEDで検討していたが、無電極照明の方が当社の作業環境には適していた。特に人が作業する場所は光の質がよくなり、現場が大変喜んでいて、導入してよかったと満足している。

省エネ照明営業担当者の声



例えば同じ台数の同じ照明であっても、必ずしも全く同じご提案になるとは限りません。お客様が何を求めているかをよくヒアリングし、要望に合わせたものをご提案しております。



いつも笑顔での対応を心がけています！お客様のメリットが大きくなるよう、助成金のご案内なども行っております。



コスト削減やCO2削減だけではなく、照明の下で働く方々がより快適に作業しやすいような環境をご提供したいです！



お客様に照明をご購入していただきたいというより、お客様に喜んでいただきたいという気持ちで営業しております。

▶ 商材情報や助成金の情報をメルマガにてご案内しております。配信ご希望の方は当社HPよりお申し込みください。
<http://katosyoji.net/>

省エネ照明選びのポイントアドバイス

省エネ照明にも多種多様な商品があり、「どの商品がいいのか分からない」というお声をよく聞きます。また、省エネができれば良いと安易に選んでしまったため、「すぐに壊れてしまった」「色味に違和感がある」など、問題が生じてしまった企業様もおられるようです。

当社では、省エネにつながることはもちろん、お客様に「より快適な作業環境」を提供できるよう、これまでのノウハウを生かし「省エネ照明選びのポイント」をお伝えしております。より満足度の高い商品を導入していただくため、お客様の立場に立ったご提案を行ってまいります。

また、定期的にセミナーなども開催していく予定です。

工場照明診断テスト①

工場照明診断テスト②

協力会社とのお客様対応勉強会

総合建物管理課では定期的に、協力会社と合同の「お客様対応勉強会」を開催しています。お客様にお会いした際の表情、身なり、言葉づかいなどについて互いに学びあい、より良いサービスのご提供を目指しております。

3つのリスニング

1 ネガティブリスニング 相手のマイナス感情を生む

- ・目を見ない
- ・軸線を合わせない
- ・反応しない

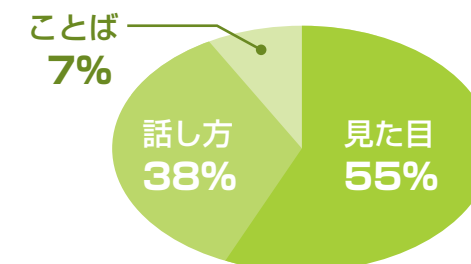
2 パッシブリスニング 相手と接する基本的な聞き方

- ・目を見る
- ・軸線を合わせる
- ・うなづく、あいづちを打つ

3 アクティブリスニング 相手を受け入れ、共感する聞き方

- ・目を見る
- ・軸線を合わせる
- ・うなづく、あいづちを打つ
- ・同調姿勢
- ・質問、感想やキーワード

良い印象をもたれる3要素



プラスのストローク

人と人との関わりの中で、相手の存在感を認める行動や働きかけ

笑顔 挨拶 認める
感謝 励ます 期待する

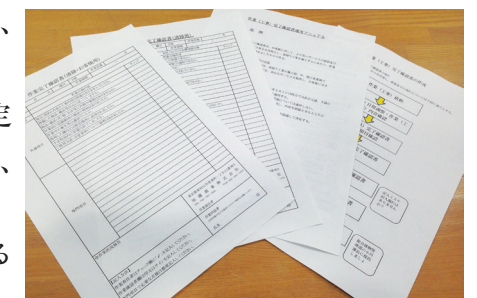
勉強会当日資料

作業完了確認書作成

お客様へ安心・安全なサービスをより確実に提供するため、「作業完了確認書」を導入しました。

清掃作業やLED工事などの作業終了時に、作業は予定通り実施されたか、周辺の汚れなどは残っていないかなど、チェック項目を確認し、ミスを防ぐ取り組みです。

内容の定期的な見直しを行い、お客様にご満足いただけるサービスへとつなげてまいります。



第54期実績(レビュー情報報告)

当社ではISO14001の認証を取得し、環境マネジメントの継続的改善を図っています。

今期は省エネ商材販売によるCO2削減、従業員の安全意識向上による事故の撲滅(発生件数:0件)、地域に根差したCSR活動の実施、業務に必要な講習会の開催・受講及び資格取得による専門知識レベルの向上と、主に4つの目標を掲げ取り組んでまいりました。

前期課題となっていた「事故の撲滅」については、発生件数が前期10件に比べ今期が3件と、格段に少なくなりました。事故防止委員会の実施や各事業所ごとの教育等による再発防止策が有効に機能していると考えております。

第54期 環境目的目標		
目的	目標	実績
新規環境関連サービスの提供による顧客及び社会に対する啓蒙・啓発活動	省エネ商材販売によるCO2削減	△
事故ゼロ達成による環境汚染の予防	従業員の安全意識向上による事故の撲滅(発生件数:0件)	○
地域環境への貢献活動実施	地域に根差したCSR活動の実施	◎
持続可能な地球環境を創造する企業の確立	業務に必要な講習会の開催・受講及び資格取得による専門知識レベルの向上	○

自己評価(マネジメントレビューより)
◎:達成 ○:おおむね達成 △:努力の余地あり

第三者審査結果

第54期の第三者審査では、審査員より“グッドポイント”を3つも頂戴する結果となりました。

審査員から“グッドポイント”

- 1 環境貢献事業に積極的に取り組み成果を上げられています。素晴らしいCSR報告書(2012年版)が作成され、組織の環境活動が分かりやすく、EMSが有効に機能していることが評価されます。
- 2 内部監査は事前に監査のポイントが論議され、運用改善につながる指摘が複数指摘されており、有効な監査と評価できます。
- 3 収集作業中に集積場に持ち出し困難な世帯に対し「声掛け」を行い、安否の確認を行う地域に根差した貢献活動を実施されていました。現場でのインタビュー中にも市民から「ご苦労さん」の呼びかけがあるなど、信頼されている状況も確認できました。

実施日	審査種類	重大な不適合	軽微な不適合	改善の機会	適合	よい点(グッドポイント)
2013年 09月04日～09月05日	第6回 サーベイランス 審査	なし	1件	7件	なし	3件
2012年 09月19日～09月20日	第5回 サーベイランス 審査	なし	なし	7件	1件	2件
2011年 07月20日～07月21日	第2回 サーベイランス 審査	なし	1件	4件	なし	なし

環境データ

当社のエネルギー使用は、工場における容器包装プラスチックの圧縮梱包に係る電力と収集運搬車両の燃料である軽油が中心となります。環境負荷を低減するため、LED照明やエネルギー管理システムの導入などの積極的な取り組みを行ってきた結果、電気の使用量は年々減少傾向にあります。



加藤商事 成井発電所(49.5kW)が稼働開始

2012年度に引き続き、今年度は茨城県筑西市に49.5kWの太陽光発電システムを設置しました。

システムの導入提案をするだけでなく、自らシステムを設置する立場となっており、お客様の気持ちをより深く理解した提案を行っていきたくと考えております。

太陽光発電システム概要

設置エリア	茨城県筑西市成井
電力買取方式	全量買取
売電単価	36円(税抜)
設置年月日	平成26年3月15日
最大出力値	49.5kW
パネルメーカー	ハンファQセルズジャパン
パネル種類	多結晶
パネル枚数	216枚(255W/枚)
パワコン電気方式	単相3線式
パワコンメーカー	オムロン
設置方位	南向10°

※パワコンとはパワーコンディショナーの略称



遠隔監視システム「エコめがね」で日々の稼働状況をチェック

当社では、いつでもどこでも発電状況や発電量、売電料金が確認できるよう、太陽光発電と一緒に「エコめがね」を設置いたしました。



環境教育

環境に関わる企業として、次の時代を担う子供たちへ環境の大切さを伝えることは当社の使命であるとの考えのもと、環境教育に積極的に取り組んでいます。

昨年に引き続き、小学校への出前授業や地元イベントでのパネル展示、本社屋上の太陽光パネルを使って学ぶ「太陽光パネル見学会」を開催いたしました。

学校法人清瀬学園きよせ幼稚園の太陽光パネル見学会は今年で2年目を迎え、昨年の2倍となる約100名の園児さんにご参加いただきました。ソーラーおもちゃを使った実験中に太陽が雲に隠れてしまう場面もありましたが、子供たちが「太陽さん！がんばれ！」とエールを送ると、雲の隙間から太陽が姿を現すような出来事もあり大盛況でした。



期日	名称	内容
2013年7月27日	平成25年度清瀬環境・川まつり	クイズやパネル展示を通して水の大切さを学んでいただきました。
2013年10月21日	太陽光パネル見学会	学校法人清瀬学園きよせ幼稚園の園児101名を対象とし、太陽光パネルの見学およびソーラーおもちゃを使った実験を行いました。
2013年11月7日	出前授業	東村山市立大岱小学校の4年生を対象とし、市と提携して実施しました。
2013年11月9日	東村山市産業まつり	使い捨てライターのパッカー車巻き込みによる火災防止のため、使い捨てライター分別周知のパネル展示を行いました。
2013年11月14日	出前授業	東村山市立南台小学校の4年生を対象とし、市と提携して実施しました。

参加者の声 コンサルティング課 半田

清瀬環境・川まつりに参加しました。来場者へパネル展示やクイズを通し、水の循環の仕組みや水の大切さについての啓蒙活動を行いました。パネルに見入る子どもたちが、「家庭の中で使われる水は、こんなにたくさんあるんだね」と興味津々でお父さん、お母さんに話す姿もありました。家族で環境について考えるきっかけにもなっていることが感じられ、充実感を得ることができました。これからも一人でも多くの方へ環境の大切さを伝えるため、このような取り組みに参加していきたいと思っています。



地域防犯協力

地元の警察署、行政と協力しパッカー車による「振り込め詐欺」に対する注意喚起の取り組みを行いました。

収集を行っている車の車体に「騙されないで!! ストップ振り込め詐欺!!」と書かれたステッカーを貼り、車両に搭載したスピーカーからアナウンスを行いました。身近なごみ収集車から注意を呼び掛けるこのような取り組みは、全国的にも珍しくメディアにも大きく取り上げられました。

今後も、地域の方々が安心して暮らせるよう、取り組みを検討してまいります。



火災予防運動

火災予防運動の一環として春と秋の年2回、収集を行っている車両に「火災予防運動実施中」と記載されたステッカーを貼り、注意を呼び掛けています。

身近なごみ収集車での啓発活動はとても有効な手段であり、当社でも使い捨てライターによる火災など火災のリスクは存在することから、このような取り組みを通じて、その予防と初期行動の重要性を再確認する機会としています。引き続きこのような活動を進めていきます。



工場見学

当社では、容器包装プラスチックのリサイクルをはじめとした循環型社会実現への理解をより多くの方に深めて頂くため、エコ工場フェニックスの見学を常時受け付けています。

選別作業現場の見学から、容器包装プラスチックのリサイクルの流れに関するDVDの上映まで、ご家庭で分別された容器包装プラスチックがどうやってリサイクルされるのか、その具体的なイメージを持って頂けるようなプログラムを組んでいます。

2013年度は、地域住民はもちろんのこと、自治体や学生等、幅広い層の方に見学いただき、また、障がい者職場体験も積極的に実施しました。



東京都産業廃棄物協会女性部主催 ごみ工場体験見学会！

3月26日、東京都産業廃棄物協会女性部主催で、小学生とご家族を対象とした当社エコ工場の体験見学会が実施されました。選別体験や、パッカー車・フォークリフトの試乗を行い、好評を得ることができました。

見学会参加後、実際に学校で環境委員会を立ち上げるお子様がいらっしゃるなど、大変意義のある取り組みとなりました。



工場見学をご希望の方は電話にてお申し込みください。 042-392-1001

CSR 調達方針

加藤商事株式会社は、関係会社様と共に
CSR経営を推進していくためCSR調達方針を定めました。

CSR 調達基本方針

公正で公平な取引の実現

オープンな取引の機会を提供し、国内外の法令・法規を遵守し、企業倫理に基づいた公平な取引を行う。

サービスの向上

市場のニーズに応えるため、質・コスト・安全性を追求する。

環境への配慮

環境への影響を十分配慮する。

パートナーとの信頼構築

パートナーとの相互の信頼関係を築くため、誠実に取組む。
また、調達活動を通じて得た情報は厳密に管理する。

お取引先に対する調達基準

お取引先様とともにCSR調達活動を推進し、共に企業価値向上を目指します。
お取引先様のご協力ご理解をいただきながら、活動を推進してまいります。

パートナーとの信頼構築

法令・法規を遵守し、倫理観に基づいた誠実な企業活動を行う。

人権の尊重、労働安全衛生の取組み

人権を尊重し、人権侵害行為や非人道的行為、不当な差別を行わない。
従業員の安全と健康のため、安全衛生管理を徹底し、快適な職場環境を整備する。

環境への配慮

環境への負荷を軽減するための取組みを行う。

商品・サービスの質と安全性の向上

優れた商品・サービスを安全に適正な価格で提供する。

健全な企業活動の継続

相互の信頼関係構築に努め、誠実に経営を行う。

- ▶ CSR調達方針は当社ホームページにて公開しております。
http://katosyoji.net/csr_torikumi/4809/

第三者 意見

昨年のCSRレポートにおいて環境報告書ガイドラインやCSR報告書に関する各種ガイドラインに準拠する発展を遂げた。今年度は更に、加藤商事がめざすところのCSRが明確になった。トップメッセージで加藤代表取締役が語られている通り、廃棄物事業とは、未来への環境創りであり、地域を支える存在である。特に、特集においてふれあい回収の実践や、普通救命講習会への参加を奨励している事は大きな地域貢献である。更に、AEDマッププロジェクトを行なう事は、実にユニークな発想であり、且つ具体的な貢献策であると思われる。

そして、CSVを積極的に取り入れたいとの強い意思表示は、同業界においては希有な存在であり、先駆的な考えを示したことになる。

今回、CSR調達方針を明確にしている。これは、グリーン購入よりも一歩進んだ考え方であり、廃棄物業界において調達基準を広く取引先に公表している事は特筆に値するであろう。

国内での実績を積んでから培ってきた知識や技術を用いて海外展開を行なう事まで視野にいれていることは、廃棄物業界のリーダー企業としての、使命を全うすることを意味しているのであろう。

- ▶ 環境省「環境報告ガイドライン」、
GRI「サステナビリティレポートガイドライン」
第3版との対照表は当社ホームページにて
公開しております。
<http://katosyoji.net/category/csr/csrhoukou/>



カーボンフリーコンサルティング 株式会社

代表取締役 中西 武志

経 歴

2007年4月～現在 カーボンフリーコンサルティング株式会社 代表取締役
2011年8月～ ブルーエコノミー研究所 所長
2011年8月～ 株式会社ブルーエコノミー研究所 代表取締役

略 歴

シティバンクN.A. 金融商品開発部部長、ゴールドマンサックス証券バイスプレジデント、クレディスイス証券金融商品開発部長、バンクオブアメリカ証券法人営業本部長を歴任後起業。国内外の政府組織、上場企業、ベンチャーなど多くの組織を支援。特に、先進的な環境経営を支える取組みであるカーボンオフセットに関しては国内TOPのマネジメント数を誇る。WFP（国連世界食糧計画）と世界初のFOOD FOR CARBON FREE PILOTプロジェクトの実施や海洋緑化、水ビジネスなど場所や領域を問わず活動の場を広げている。

東京大学経済学研究科大学院中退 国際経営学博士
カーボンフリーコンサルティング株式会社 代表取締役
CARBON FREE CONSULTING CORPORATION (USA)
member of board
株式会社ブルーエコノミー研究所 代表取締役
一般社団法人 海洋緑化協会 副理事長
一般社団法人 海洋緑化クラブ 副理事長
株式会社 BEACH TOWN CFO
一般社団法人 アウトドアフィットネス協会 副理事長
カーボンニュートラル協議会 発起人
九州大学工学部 大学院工学府 非常勤講師
CHALLENGE TO CHANGE JAPAN 代表理事

加藤商事株式会社 www.katosyoji.net



本 社 東京都東村山市恩多町 1-12-3 〒189-0011
TEL : 042-392-1001 FAX : 042-394-1453

赤坂営業所 東京都港区赤坂 4-4-14 未来環境創造ビル 1F 〒107-0052
TEL : 03-6277-7187 FAX : 03-6277-7197